

## 茅ヶ崎市文化生涯学習に関するアンケート結果について

【資料の説明】資料1の方針のとおり、次期プラン策定は延期しますが、現プラン最終評価における「今後への提言」作成のご参考とさせていただきますようお願いいたします。

## 1. 目的・趣旨

令和3年度を始期とする、次期茅ヶ崎市文化生涯学習プランを策定するための基礎資料等とすることを目的として、市民から意見・提案などを聴取するためのアンケート調査を実施。

## 2. 実施期間

令和2年1月8日（水）～同年2月14日（金）まで

## 3. 対象者

市民・施設来館者・講座受講者等

## 4. アンケート方法

①市ホームページ（web 回答） ②市民ふれあいプラザ（紙） ③文化生涯学習関連施設（紙） ④講座開催時（紙）

## 4. 回答者

416名（web 回答：46名・紙回答370名）

## 5. 回答者内訳

## (1) 年齢

回答者	人数	割合
9歳以下		
10歳代	3人	0.7%
20歳代	27人	6.5%
30歳代	17人	4.1%
40歳代	54人	13.0%
50歳代	73人	17.5%
60歳代	103人	24.8%
70歳代	103人	24.8%
80歳以上	35人	8.4%
未記入	1人	0.2%
合計	416人	100.0%

## \*参考 茅ヶ崎市の人口分布（令和2年2月）

年代	人数	割合
9歳以下	20,443人	8.4%
10歳代	23,070人	9.5%
20歳代	21,485人	8.8%
30歳代	26,828人	11.0%
40歳代	39,914人	16.4%
50歳代	34,685人	14.2%
60歳代	27,531人	11.3%
70歳代	30,174人	12.4%
80歳以上	19,629人	8.1%
合計	243,759人	100%

## (2) 職業等

回答	人数	割合
1. 中学生・高校生	1人	0.2%
2. 専門学校・短大・大学生等（予備校を含む）	28人	6.7%
3. 自営業	34人	8.2%
4. 会社員・公務員・団体職員	58人	13.9%
5. 家事従事	76人	18.3%
6. パート・アルバイト	62人	14.9%
7. 無職	123人	29.6%
8. その他	34人	8.2%
合計	416人	100%

## (3) 茅ヶ崎市在住歴

回答	人数	割合
1. 5年未満	22人	5.3%
2. 5～9年	21人	5.0%
3. 10～19年	42人	10.1%
4. 20～29年	60人	14.4%
5. 30年以上	193人	46.4%
6. 市外	74人	17.8%
未記入	4人	1.0%
合計	416人	100.0%

## 6. 問1：「文化生涯学習に関する意識調査」の回答について

(1) あなたは、「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、どのように思いますか。

## 【回答項目】

1 共感できる 2 どちらかといえば共感できる 3 どちらともいえない・よくわからない 4 どちらかといえば共感できない 5 共感できない

回答項目	1	2	3	4	5	無回答	合計
回答人数	269人	106人	20人	2人	2人	17人	416人
割合	64.7%	25.5%	4.8%	0.5%	0.5%	4.1%	100%

(2) あなたは、文化財・伝統的まちなみの保存・整備など、茅ヶ崎市の文化的な環境に満足していますか。

## 【回答項目】

1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば満足していない 5 満足していない

回答項目	1	2	3	4	5	無回答	合計
回答人数	32人	141人	170人	41人	13人	19人	416人
割合	7.7%	33.9%	40.9%	9.9%	3.1%	4.6%	100%

(3) 文化生涯学習活動を共に行うことを通じて、障害者や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方について、どのように思いますか。

## 【回答項目】

1 共感できる 2 どちらかといえば共感できる 3 どちらともいえない・よくわからない 4 どちらかといえば共感できない 5 共感できない

回答項目	1	2	3	4	5	無回答	合計
回答人数	216人	119人	60人	5人	0人	16人	416人
割合	51.9%	28.6%	14.4%	1.2%	0.0%	3.8%	100%

(4) 生涯学習が市民一人ひとりの生活とともに地域社会に密接な関わりがあり、それらを豊かにしていく役割があるという考え方について、どのように思いますか。

【回答項目】

1 共感できる 2 どちらかといえば共感できる 3 どちらともいえない・よくわからない 4 どちらかといえば共感できない 5 共感できない

回答項目	1	2	3	4	5	無回答	合計
回答人数	219人	139人	36人	6人		16人	416人
割合	52.6%	33.4%	8.7%	1.4%	0.0%	3.8%	100%

(5) 文化芸術振興のあり方のひとつとして、寄附があげられますが、あなたは、文化芸術振興に寄附をすることに興味がありますか。

【回答項目】

1 興味がある 2 どちらかといえば興味がある 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば興味がない 5 興味がない

回答項目	1	2	3	4	5	無回答	合計
回答人数	53人	125人	170人	32人	19人	17人	416人
割合	12.7%	30.0%	40.9%	7.7%	4.6%	4.1%	100%

## 7. 問2：「文化生涯学習全般に関するアンケート」の回答について

(1) あなたは、どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心をもつようになると思われますか。

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
情報が入手しやすくなる	262	23.9%
近所でたくさん催しが行われるようになる	200	18.2%
今より時間的な余裕ができる	129	11.7%
家族や親しい知人・友人に誘われる機会が増える	114	10.4%
自分の地域のアーティストや作品、文化イベントが全国的、世界的に有名になる	99	9.0%
今より経済的な余裕ができる	93	8.5%
バリアフリーや高齢者・障害者対応サービスが整っている施設や行事が充実する	82	7.5%
小さな子どもを連れて行ける施設や行事が充実する	78	7.1%
夜間にたくさん催しが行われるようになる	34	3.1%
その他	7	0.6%
関心がない・分からない	0	0.0%
合計回答数	1,098	100%

その他の意見：

- ・市民やボランティアの活用により市がもっと積極的に関わる。
- ・文化芸術とひとくくりにしても様々だ。面白そうなら参加する。伝統やしがらみばかりに囚われない企画に光を当てて欲しい。
- ・駐車場が広がる等交通の利便性がよくなるとよい。
- ・催しの内容がよくなるなら関心が持てる。
- ・高齢なので昼間の催しを多くして欲しい。
- ・有名人やストーリーのある方の参加を増やす。
- ・茅ヶ崎の文化に関係する方の参加
- ・文化の地域における重要性がわかるように、文化の由来やなりたちがわかる機会があると良い。

(2) あなたは、どうすれば鑑賞以外の創作、出演といった創造的活動にもっと参加しやすくなると思われますか。

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
魅力ある内容の活動が行われる	245	18.6%
住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる	164	12.5%
情報が入手しやすくなる	157	11.9%
初心者向けの活動が提供される	154	11.7%
一緒に活動する仲間ができる	110	8.4%

活動に参加するための費用の負担が軽くなる	108	8.2%
活動のための時間が取れるようになる	105	8.0%
参加する機会や活動の成果を発表する機会が多く提供されるようになる	75	5.7%
年齢や障害の有無にかかわらず、参加しやすい施設整備やバリアフリー、対応サービスが導入される	74	5.6%
土日祝日や夜間などに活動が行われる	58	4.4%
小さな子どもを連れて行ける対応サービスが充実する	47	3.6%
その他	9	0.7%
関心がない・分からない	8	0.6%
合計回答数	1,314	100%

その他の意見：

- ・仕事でも友情でもない、共に道を求める仲間と出会う場、そして学んだことを発表する場があれば目的を持って参加しやすい。
- ・収入が増えれば、参加したい。
- ・仲間集めが容易にできるなら。
- ・活動の場や仲間づくりのためのニーズ、シーズをより細かくつかめるなら。
- ・社会的弱者が自己表現できる環境を創出する
- ・文化芸術からエネルギーはたくさんもらっており、心の豊かさにつながっているが、自分から創作しようという思いはない。
- ・初心者向けの学習講座の機会を増やす
- ・活動をする場所、成果を発表できる場所が多くある。

(3) あなたは、どのようにしたら、茅ヶ崎市の歴史を広めることができると思いますか。

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
広報ちがさきでの周知	208	28.0%
公共施設で開催する市史講座での啓発	202	27.2%
出前講座等の実施	153	20.6%
公共施設等での関係チラシの配布	99	13.3%
資料等の展示事業	51	6.9%
その他	30	4.0%
合計回答数	743	100%

その他の意見：

- ・SNSの活用・情報共有
- ・YOUTUBEの活用
- ・学校などでの講演やワークショップ
- ・インターネットの活用が現状不十分
- ・メールで講演会のお知らせをする
- ・これまで全く歴史に関心を持たなかった人に、地域に誇りを持ってもらえるような歴史を物語仕立てで配信するとか、ドラマ化するとか。また、災害の歴史など、知恵として防災と絡めるのもよいのでないか。
- ・印刷物の活用

- ・社会教育課で進めているちがさき丸ごと発見博物館事業の拡大と活動拠点（駅周辺の空き店舗など）の設置。
- ・興味の幅を広げるため学校（子ども）を対象としたもの。
- ・実地観察、見学会、映画会等で興味を深める。
- ・歴史を知ってもらうため単独の展示などでは興味がある人しか興味を示さない。町の変遷などを写真とわかりやすいイラストなどで示し、どういうことが起こってきたのかをへーと思えるようにでき、気軽に見に行く（駅中など）ことができれば興味をもってもらえるのではないかと思います。
- ・TV、雑誌などのメディア取り上げ
- ・市民によるサークルでの事業の実施
- ・学校教育が重要。学校での出前講座等
- ・若い人が知っているアーティストなどにも協力してもらい、イベントと組み合わせ広めていく
- ・地域ごとでいわれや歴史の紙芝居などを作成して発表の場を設ける。（高齢者がいわれを話し小中学生が絵を描くなど）、大岡越前・なんどき・源頼朝落馬の由来

(4) 今より生涯学習にとりくみやすくなるためには、今後どのような取り組みがあればいいと思いますか？

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
講座、講演会などの充実	258	28.4%
施設（学習できる場・交流できる場）の充実	168	18.5%
学びたい人の交流の場の充実	151	16.6%
学んだことを生かせる場の提供（講座の講師・ボランティア活動等）	123	13.6%
会場の確保や広報等による市の活動支援	111	12.2%
学習成果を活用した活動事例の紹介	50	5.5%
学習の成果を評価する取組（修了証の交付や単位の認定等）	39	4.3%
その他	7	0.8%
合計回答数	907	100%

その他の意見：

- ・ボランティア同士の交流の場をつくる
- ・社会教育課で進めているちがさき丸ごと発見博物館事業と生涯学習課の事業の統合。
- ・講座、座学形式だとどうしても、興味ある人、中高年に限定されてしまうので例えば、イオンなどの商業施設や、市民の祭などで見てもらえるような機会を、作るとよいのでは。お子さんは、体験、自分で作るのが、いいようですし、主婦は、食べ物、お買い物があると良い
- ・専門の講師に聞くだけでなく、地域の・年配者の体験談を聞くとか市民同士の参加型もよいかもしれません。年配の方も、戦争や災害を乗り越えたり、お祭りや楽しみ・にぎわいがあった等の生きる知恵をお持ちだと思うので広く、生かしてほしい。
- ・興味のあるテーマでの講座実施
- ・施設を利用しやすくする（時間的制約が多い）

(5) 生涯学習を通じて学んだ知識や技術をどのように生かしたいですか？

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
自分の人生を豊かにするため	323	38.4%
健康の維持・増進に役立てるため	165	19.6%
地域や社会での活動に生かすため	149	17.7%
家庭や日常の生活に生かすため	144	17.1%
仕事や就職の上で生かすため	56	6.7%
その他	5	0.6%
生かしたいと思わない	0	0.0%
学習したいと思わない	0	0.0%
合計回答数	842	100%

その他の意見：

- ・学びは多種多様であると思う。生かすと思うと身構えるが、いいなと思う気づきは、人とシェアしたくなる。
- ・地域のつながりが、続いていくように。
- ・趣味として。自分自身の満足として。

(6) あなたは、お住まいの地域の文化生涯学習に関する環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。

回答項目（複数回答可）	回答数	回答割合
ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実	157	12.9%
公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	147	12.0%
地域の芸能や祭りなどの継承・保存	147	12.0%
文化芸術の創作や準備、活動ができる施設や情報の充実	132	10.8%
ワークショップなどを通じて地域在住の芸術家と直接接する機会の充実	130	10.7%
歴史的な建物や遺跡などを生かしたまちづくりの推進	127	10.4%
子どもが文化芸術に親しむ機会の充実	125	10.2%
芸術家や文化団体の活動の支援	64	5.2%
著名な芸術家の招へい	61	5.0%
工芸、ファッション、メディアなど文化芸術に関連する産業の振興	61	5.0%
文化施設や文化事業において地域在住の芸術家による作品を積極的に活用	54	4.4%
その他	15	1.2%
12 特にない・分からない	0	0.0%
合計回答数	1,220	100%



その他の意見：

- ・多少遠くても、良い催し物や文化施設には出向くと思うので、この地域の環境の充実というのであれば、この地域に住む、共に学ぶことでこの地域をよりよく住みやすくしていこうという思いを持つ人がまず主になって広く門戸を開き、興味の持てる分野で多岐にわたって学び合っていけるような街ぐるみの姿勢が必要だと思います。
- ・市民・ボランティアの活用を場を広くつくる。広く知らせるツールの活用。
- ・設問の1から7まではとてもお金がかかりそう。限られた予算をどこに使えばより有効か。民間で活躍しているクリエイティブな人に誇りの持てるようなお祭りをプロデュースしてもらおうとか。美の基準のあるアートフェスティバルなどに、なるべく行政色を消して応援する形で助成してほしい。
- ・道を広くする。
- ・公民館の改修（防音、駐車場の増大、室数の増加、設備・機器の更新をはかる）
- ・土日祝日の開催
- ・浜降祭ももっと夜に盛大に開催してほしい。昔より静かになってしまい淋しい。寝られないくらい大きな音だからこそよかった。浜までおみこしを見届けられないので夜中に回ってくるおみこしが楽しみです。一大イベントとして存続してほしい。
- ・箱もの（建物）はもっと利用しやすい工夫が必要（増設は不要）
- ・企業（人、技術）の力の活用、学校授業との連携
- ・技能・知識のある方が多数おられる。コーディネートして「会」が（サークル）成立すると思う。
- ・お金をかけずに知恵で充実させることを考える。
- ・美術館は不要。近くの藤沢市でもない、利用者も少数
- ・学習という言葉に活動内容の選択がしばられていると感じます。むしろ、いろいろな知識や経験を活かす場のコーディネートこそ生涯学習課の仕事ではありませんか？